

特集

# 空間認知の科学 最前線

カーナビや地図アプリを使うことが当たり前になっても、私たちはたびたび道に迷います。自身を取り巻く空間がどうなっていて、自分がそのどこにいるのか、というのは、案外重要な問題かもしれません。本特集は、そんな空間認知を理解したい探究者のナビゲーターとなるべく、いろいろな立場・視点の記事を掲載しています。

杉村伸一郎氏の記事は、空間認知発達の研究動向を分析しつつ、数的能力といった他の認知機能との関わりにも目を向けさせます。建築・都市計画が専門の北雄介氏は、地理だけでなく心理が地図を作り、逆に地図が認知を作り出す「地図と認知の相互関係」に光を当てました。理論と実証の両輪で空間認知研究を世界的にリードしてきたケン・チェン氏の最新の考察は、空間認知を含む認知全体の統一理論を予感させます。佐藤暢哉氏による空間認知の神経基盤の解説は、地図もGPSも組み込まないで目的地までたどり着くロボットを作るなら、どんなシステムを組み込むだろうか、そんな想像をしながら読むと楽しんでいただけるかも。空間認知をめぐる旅を楽しむ一助となれば幸いです。 (牛谷智一)